

歯の生え変わり

—乳歯から永久歯へ—

乳歯が永久歯に生え変わることは誰もがご存知だと思います。しかし、乳歯が抜けて永久歯が生えてくる順番は、よくわからない方が多いのではないでしょうか。

そのため、乳歯の抜け方、永久歯の生えるタイミングに不安を覚える親御さんもおられます。であれば、どういう順序で生え変わっていくのかを知ることによってこういった不安は少なくなるのではないかと思いますので、乳歯から永久歯への生え変わりについてお教えいたします。なお、生え変わりの順番は個人差があるため、これを絶対と思うのではなく、あくまでも基準であり、参考にするものとご理解ください。

乳歯は胎生7週頃にはすでに作り始められています。

生まれる頃には、乳歯の前歯で3／5～5／6、2番目の前歯が2／3～3／5、犬歯が1／3くらい顎の骨の中ででき上がっています。

そして、1番手前の前歯が生えてくるのが産まれて6ヵ月頃です。

その隣の2番目の前歯が7～9ヵ月くらいで生えてきて、その次は3番目の犬歯ではなく、4番目になる次の奥歯が12～14ヵ月で生えてきます。

その次に犬歯で16～18ヵ月、最後5番目になる乳歯の1番奥の歯が20～24ヵ月で生えてきます。

生えてきた乳歯が顎の中で完成するのが3才頃です。

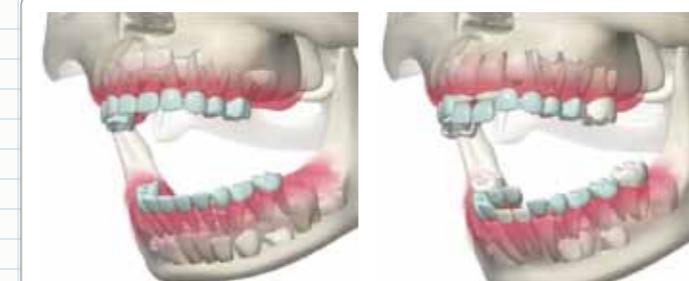
この3才の段階で、永久歯（大人の歯）の頭の部分が顎の中でかなりでき上がってきていることが図を見るとおわかりになると思います。

ですから「生え変わるから乳歯の虫歯は関係ない」ということはなく、乳歯の状態が悪いと永久歯に悪影響を与える可能性があるので、しっかり治療をしておかないといけません。

永久歯が徐々に大きくなってきて生え代わりが始まるのが6才頃です。

5番目の乳歯の奥に大きな永久歯の臼歯（奥歯）が生えてきます。この大きな奥歯は6才臼歯と言われたりもします。

ほぼ同時期に下の前歯、上の前歯の順で生え変わりが始まります。



乳歯の生え変わる時期の平均はまとめると以下のようになります。

1番目の乳前歯 6～7才

2番目の乳前歯 7～8才

3番目の乳犬歯 9～12才

4番目の乳臼歯 9～11才

5番目の乳臼歯 10～12才

では、9才頃の口の中をみていきましょう。

前歯は上下とも4本ずつ永久歯が生えていることが多く、犬歯から6才臼歯の手前までの3本の歯は乳歯であることが多い時期です。

1番奥は先程も述べたように6才臼歯とも呼ばれる永久歯となっています。

乳歯と永久歯が混在する時期を「混合歯列期」といい、乳歯が抜けて、後続の永久歯がまだ生えきっていないといった状態もよくみられ、奥歯でしっかりと噛めてない場合もある時期です。

そして、12～13才になるとほぼ永久歯に生え変わっている状態のお子さんが多くなります。

永久歯が生え揃ったとしてもまだ顎の骨の成長が続いている場合もあり、完全に完成という訳ではありません。また、1番奥の7番目の歯のさらに奥に「親知らず」と呼ばれる歯が顎の骨の中に埋もれています。

この「親知らず」が生えてくるのが17～21才頃ですが、ちゃんと生えてこない場合が多く、歯科で抜いてもらう場合が多いと思います。

「親知らず」は人間の進化の中で退化しつつある歯でもあり、人によって歯が成長しきらない場合やその大きさ自体が小さい場合もあり、また、しっかり生える場所がないために斜めに生えたり、真横に向いた状態でほぼ埋まっていたりなど、生えてても噛む役に立たない場合が多いということも「親知らず」にはあります。かえて歯みがきのじやまになり手前の歯に悪影響をおよぼす場合もあるので、抜いてしまうことが多いわけです。

生え変わりはこのような感じで進みますが、前述のように歯の生えかわりには個人差があるので絶対にこの通りというわけではありません。けれど指標として知っておけば、お子さんの口の中の成長を安心してみていくと思います。

そして、前述のとおり、乳歯の病気は永久歯に悪影響を与える可能性があります。悪い歯はしっかり治療し、きちんとメンテナンスすることによって、健康な永久歯が生えてくるよう管理してあげてください。

※イラストは「デンタルフラッシュ3」（株）Cyber デジタルより引用

KOIKE Dental Clinic



小池デンタルクリニックは…

- 「一般歯科」ですのでお気軽にご訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯1本」ではなく、「口の中全体」を1つの単位として治療計画を立てています。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診療室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。

院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯（義歯）、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格（ISO15883）に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



診療内容

- ・歯科一般外来
- ・審美
- ・インプラント
- ・歯周外科
- ・口腔外科
- ・小児歯科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:30	●	●	●	—	●	●
午後2:00～ 6:00	●	●	●	—	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療